

株式会社ヨータイ

個人投資家向け会社説明会

2025年2月14日

東証プライム：5357

本日、皆さまにお伝えしたいこと

ヨータイについて、覚えておいていただきたいこと

1 モノづくりの根底を支える **耐火物** メーカー

2 継続的に **経常利益率10%以上** を達成し、高い収益性を維持している企業

3 株主還元については、第二次中期経営計画期間中は配当による還元を重視して、**配当性向60%** あるいは1株当たり **配当金85円** のいずれか高い方を目標としている

数字で見るヨータイ (2024年3月期)

創業

2026年
90周年

1936年

1882年の大阪窯業株式会社設立
から134年

売上高

291億円

経常利益率

12.7%

業界
No.1

従業員数

531名

定形耐火物
生産量

業界
No.1

約7万トン

お客様企業数

300社超

取り扱い品目数

約5万品目

連結配当性向
目標

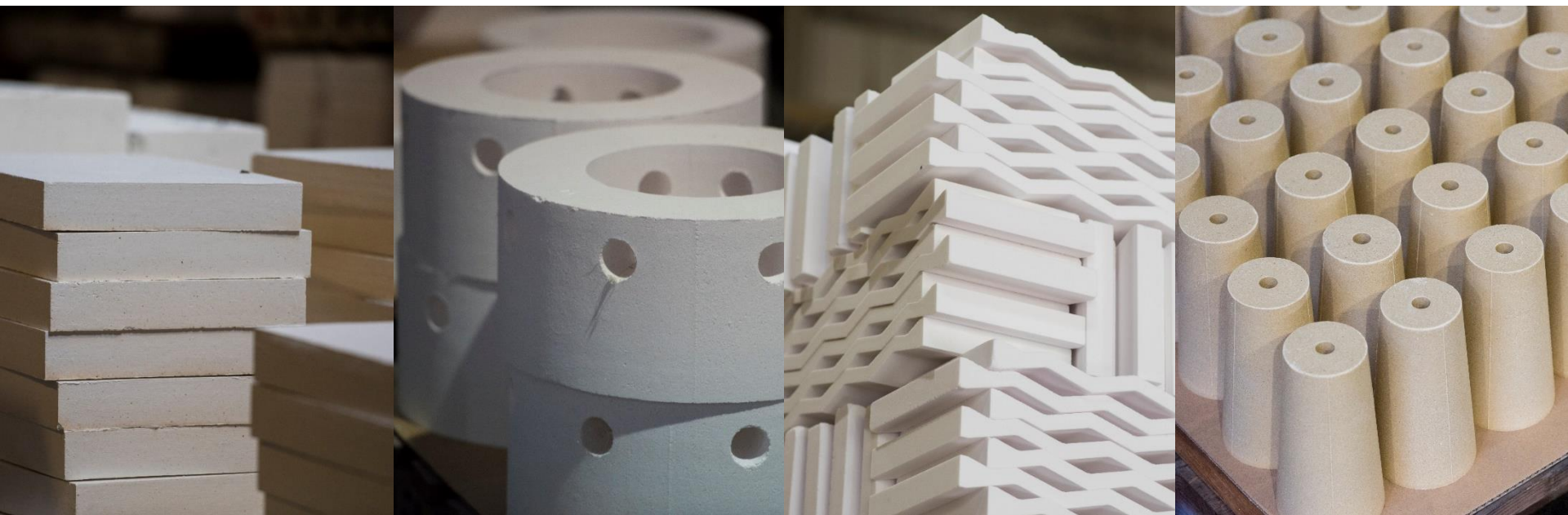
60%以上

※2025年3月期～2027年3月期

会社概要

耐火物の総合メーカー

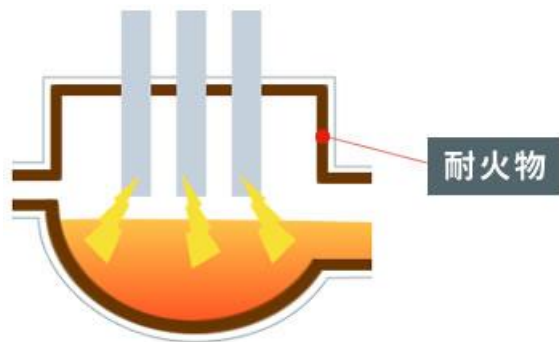
鉄やセメント、銅などの製造に「溶かす」「焼き固める」といった工程があります。
ヨータイは、そうした高温処理工程で必要不可欠な「耐火物」を供給しています。



耐火物はどのように使われているか

耐火物は、鉄やガラスを溶かす溶解炉の内張りなどに使用されている
定期的な張替や補修が必要で、お客様の操業が上向くほど当社への耐火物の需要も増加

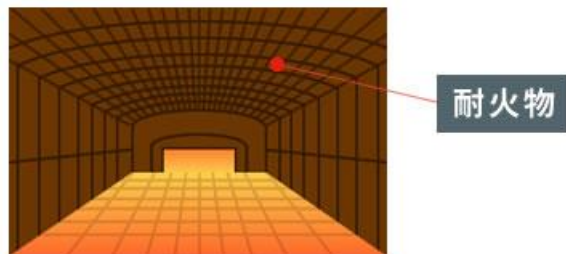
鉄鋼



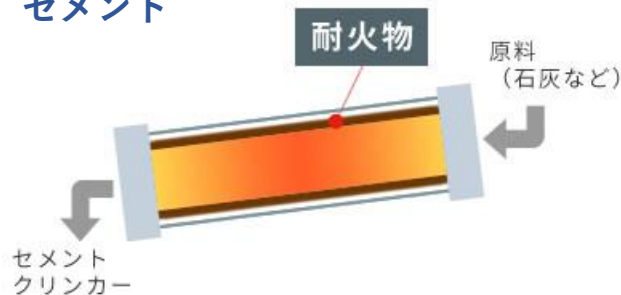
耐火物の役割

- ✓ 高温に耐える
- ✓ 溶けて流れる鉄やガラスに耐える
- ✓ 化学反応に耐える

ガラス



セメント



耐火物の製造・販売と施工・メンテナンスによる「材工一式」が当社の強み

耐火物等事業

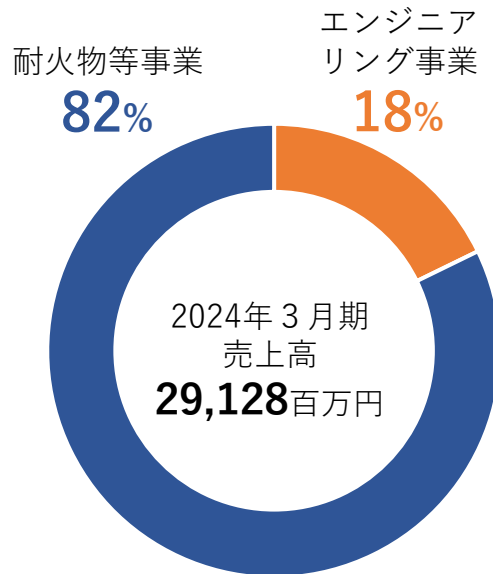
それぞれの産業ごとに求められる
最適な耐火物を製造・販売



定形耐火物



不定形耐火物



エンジニアリング事業

工業炉の設計と自社で製造した
耐火物の施工・メンテナンス

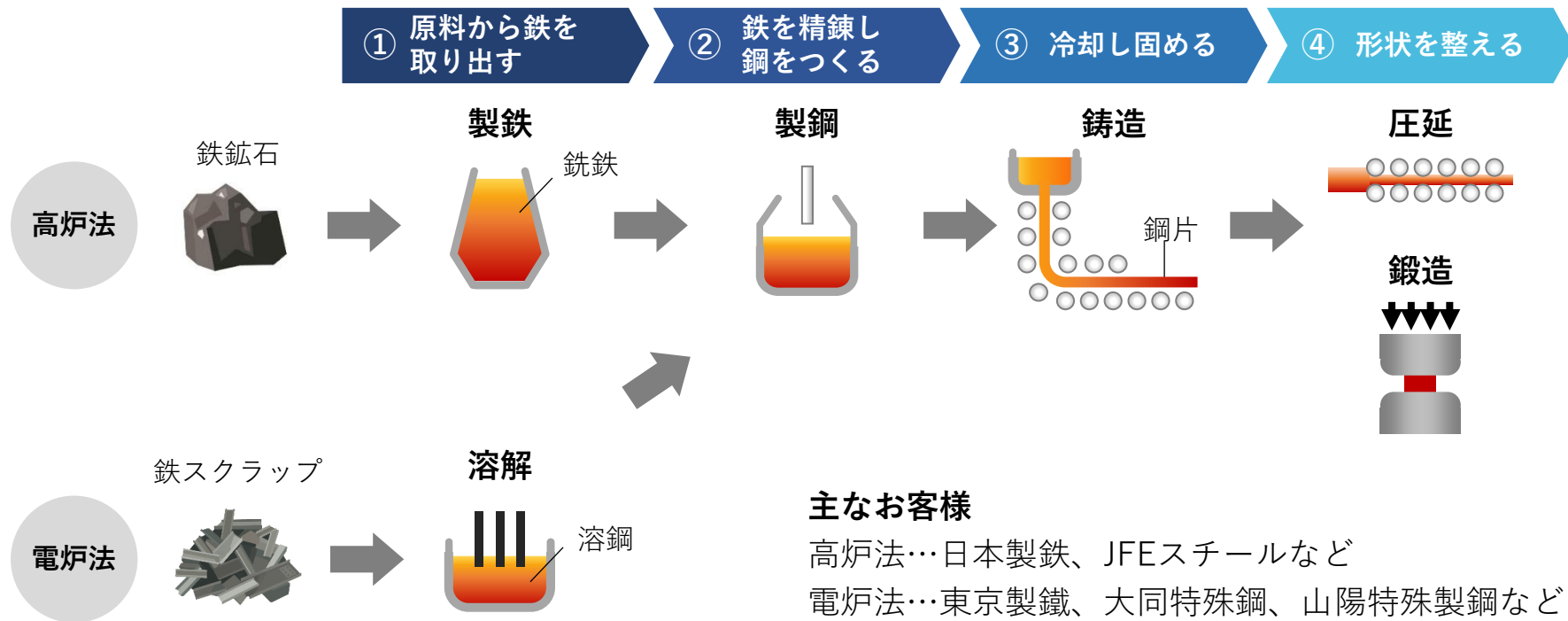


製鉄工場/
取鍋の施工



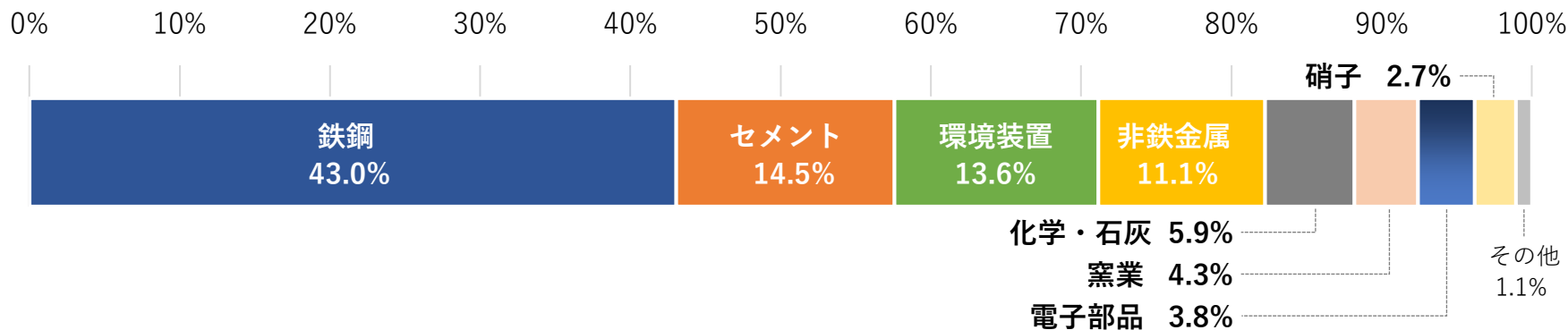
ラインチェス工法
の採用

製造プロセスの様々な部分で使われており、耐火物は鉄の製造に不可欠



鉄鋼、セメント、環境装置、非鉄金属など、耐火物を必要とする産業は多岐にわたる

2024年3月期の業種別売上実績（金額比）【単体】



鉄鋼



セメント



環境装置



非鉄金属



化学・石灰



窯業



電子部品



硝子



ヨータイは、国内の耐火物メーカーにおいて、定形耐火物 生産量No.1、
売上高4位のリーディングカンパニー

国内の耐火物メーカー連結売上高ランキング

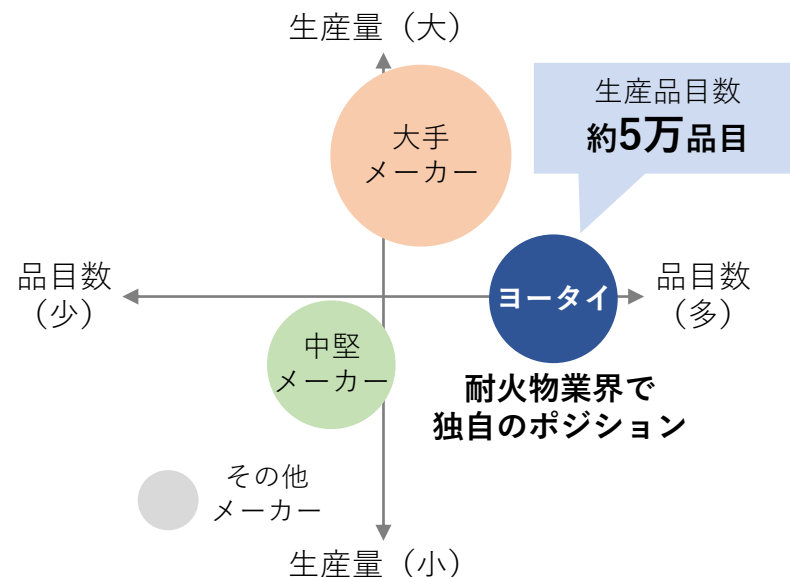
(2024年3月期)

(百万円)

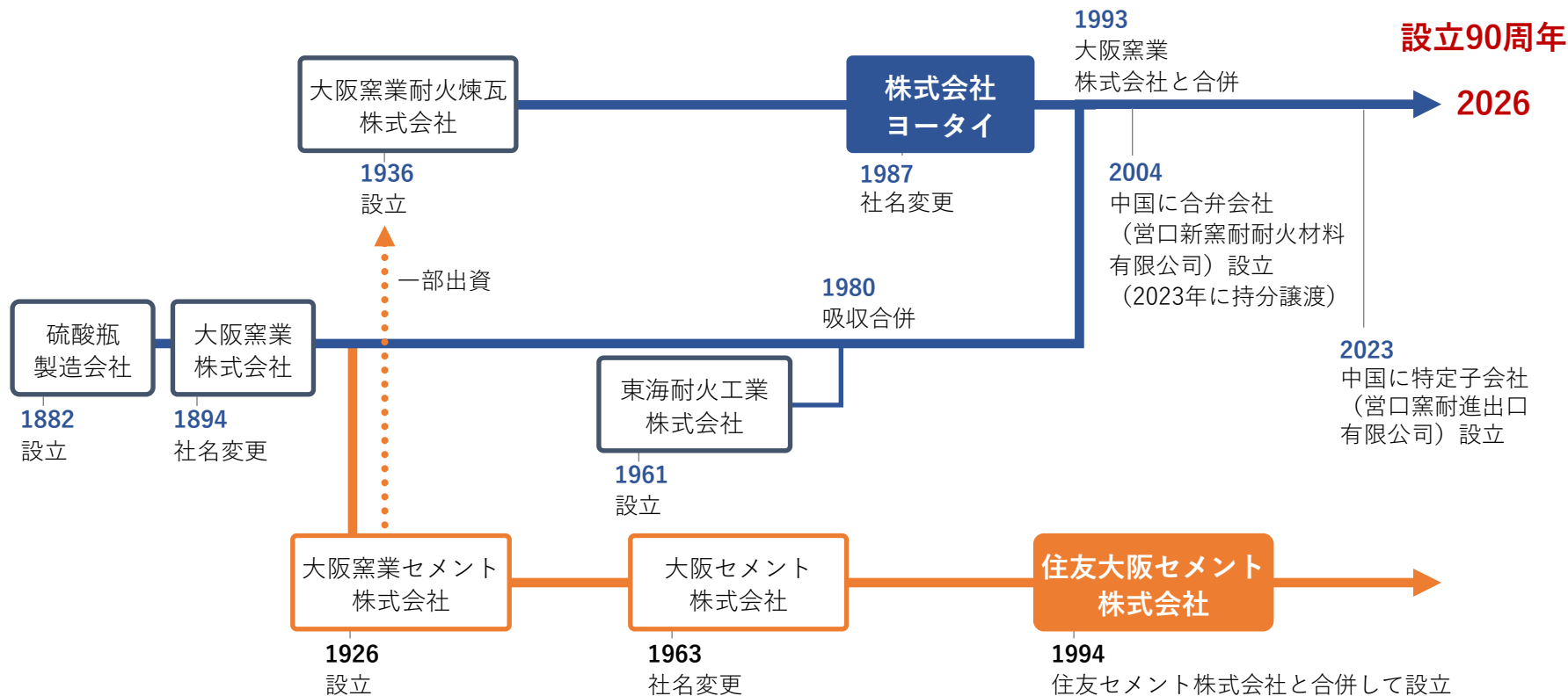
	企業名	連結売上高
1	黒崎播磨	177,029
2	品川リフラクトリーズ	144,175
3	東京窯業	30,011
4	ヨータイ	29,128
5	美濃窯業	14,159

出典：各社のIR資料より

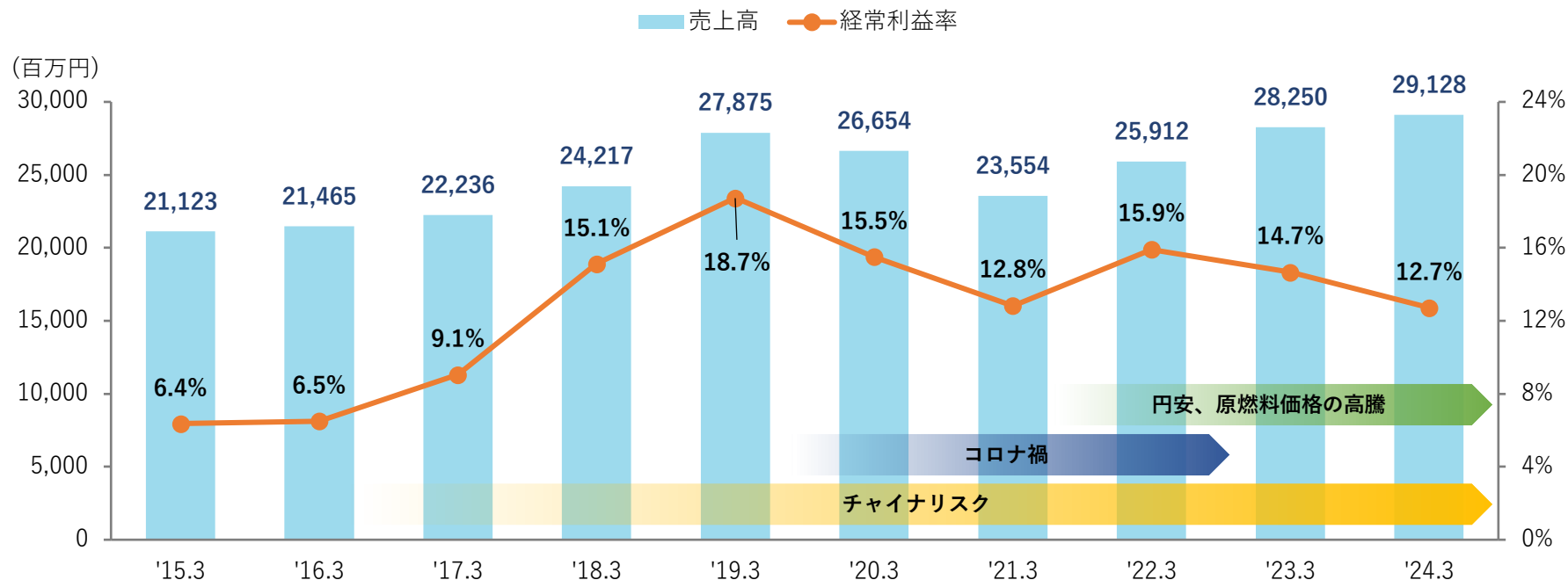
国内の耐火物メーカーのポジショニングイメージ



鉄鋼、非鉄、セメント、ガラス、焼却炉などの基礎産業とともに発展

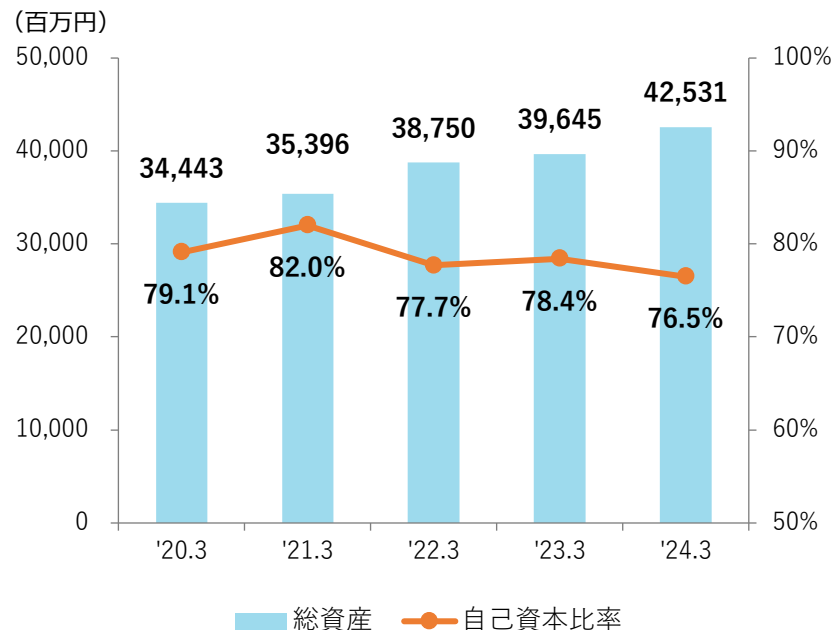


取引先業界の多角化を図り、お客様のニーズに柔軟かつ迅速に対応することで、持続的な成長と収益性の向上を図ってきた

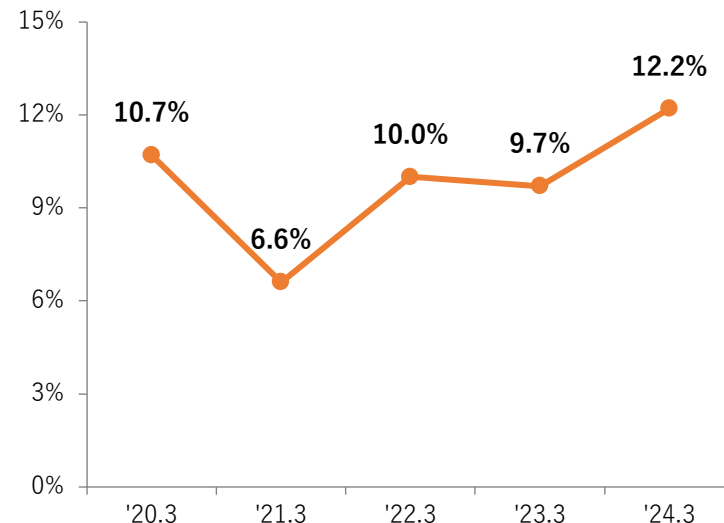


健全な財務体質と高い資本効率を維持

総資産/自己資本比率



ROE



第3四半期（累計）は、鉄鋼向け以外の受注が増加したものの、円安を主要因とする原燃料価格の高騰などにより増収・経常減益。当期純利益は前期に連結子会社の持分譲渡などによる特別利益を計上した反動で減益。

第3四半期（累計）

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
2024年3月期 3Q（実績）	22,275	+7.3%	2,800	△10.1%	2,686	+23.0%
2025年3月期 3Q（実績）	22,313	+0.2%	2,767	△1.2%	1,951	△27.4%

通期

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
2024年3月期（実績）	29,128	+3.1%	3,704	△10.6%	3,878	+30.5%
2025年3月期（予想）※	29,500	+1.3%	3,500	△5.5%	2,450	△36.8%

※2024年11月8日時点の予想

ヨータイの強み

① 特定の系列に属さない独立系

② 企業文化に裏付けされた徹底したコストマネジメント

③ 材工一式のトータルサポート



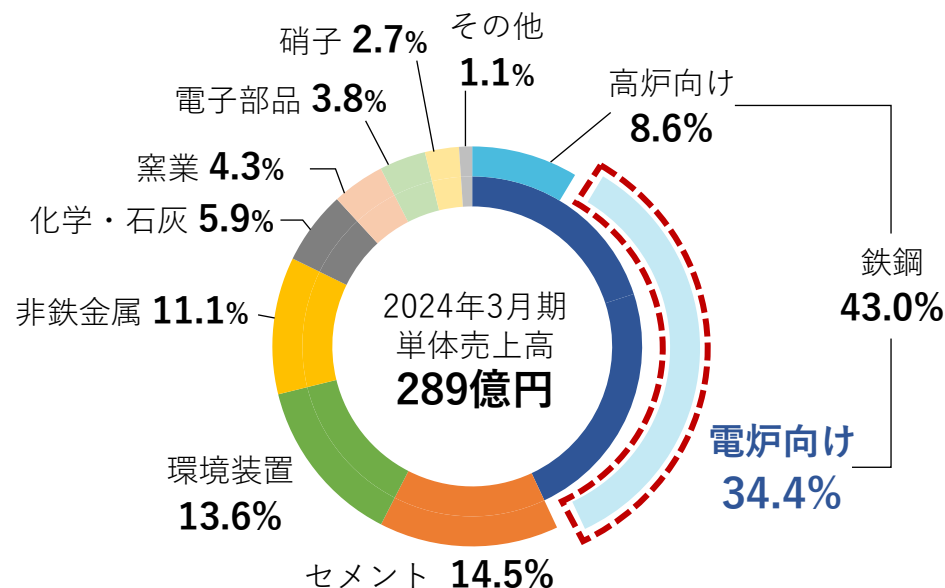
持続的な利益成長を実現

①特定の系列に属さない独立系

幅広い産業の企業と取引しており、特定の産業の動向に影響を受けにくい事業構造

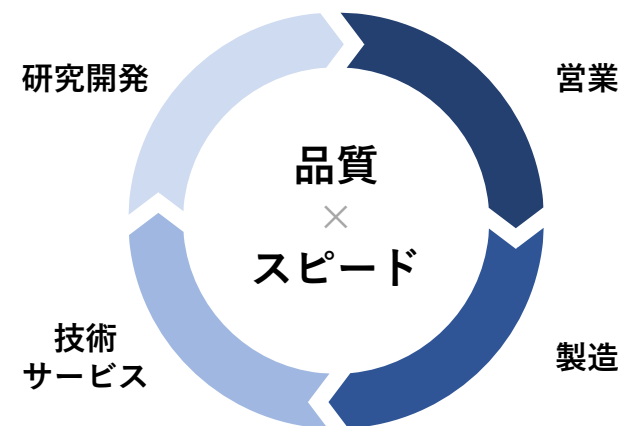
業種別売上実績（金額比）【単体】

地球環境保護の観点から需要の拡大が見込まれる
電炉メーカーのお客様を多く抱える



誠実かつ機動的な顧客対応

幅広い産業のお客様のニーズに対応する
ことで全社で技術・ノウハウを蓄積



②企業文化に裏付けされた徹底したコストマネジメント

生産設備の活用と徹底した効率化の追求により、多くの品目を扱いながらも高い生産性を実現

内製化の追求

業界に先駆けロボット化を推進するとともに、最新鋭の設備を導入



自動選別ライン
(貝塚工場)

5面加工機（日生工場）

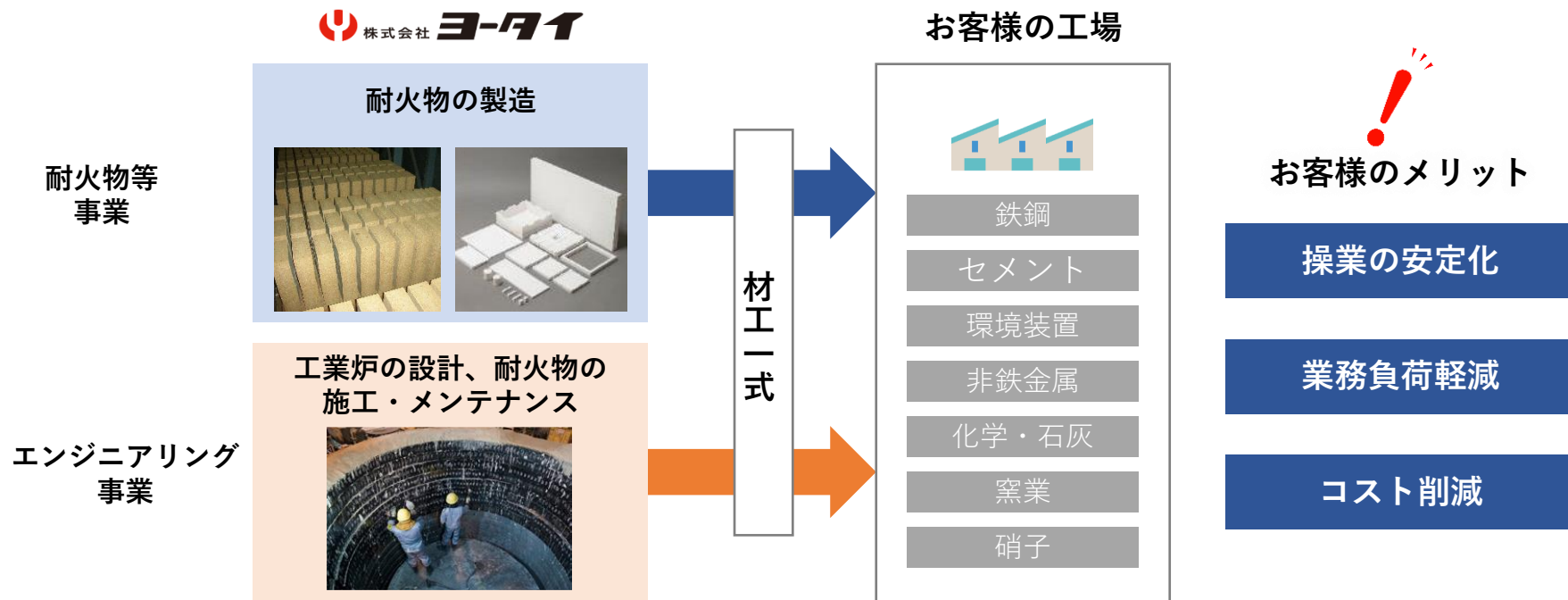
技術営業+多能工

きめ細やかな営業対応を可能にする技術営業員と、生産性向上を目的とした多能工化により、効率的な事業運営を行う



③材工一式のトータルサポート

耐火物の製造、工業炉用耐火物の設計・施工・メンテナンスを行いお客様と密接な関係を構築

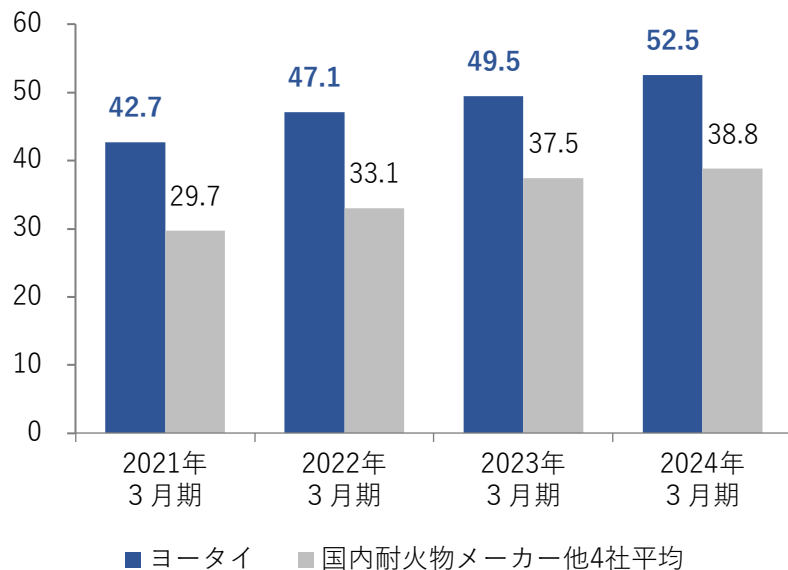


※耐火物の製造のみの取引もあり

従業員1人当たり売上高、経常利益ともに業界他社平均を大きく上回る

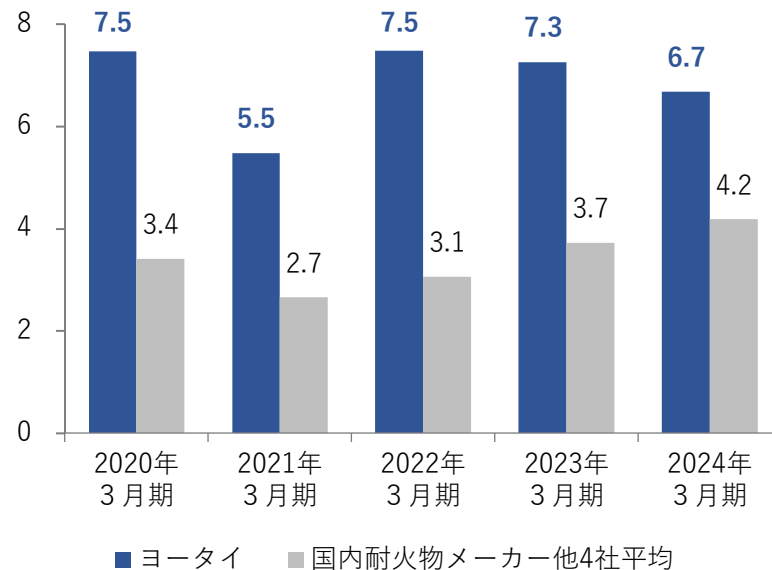
従業員1人当たりの売上高

(百万円)



従業員1人当たりの経常利益

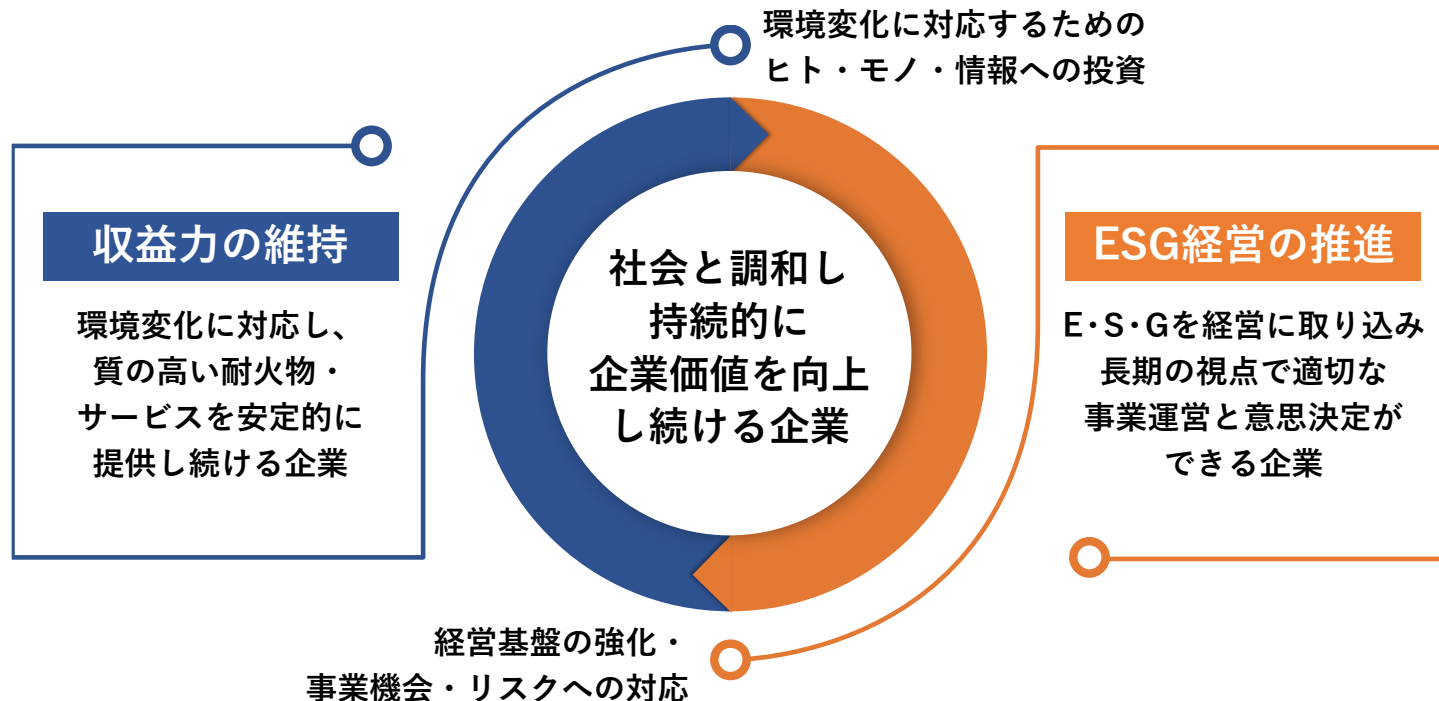
(百万円)



出典：各社IR資料

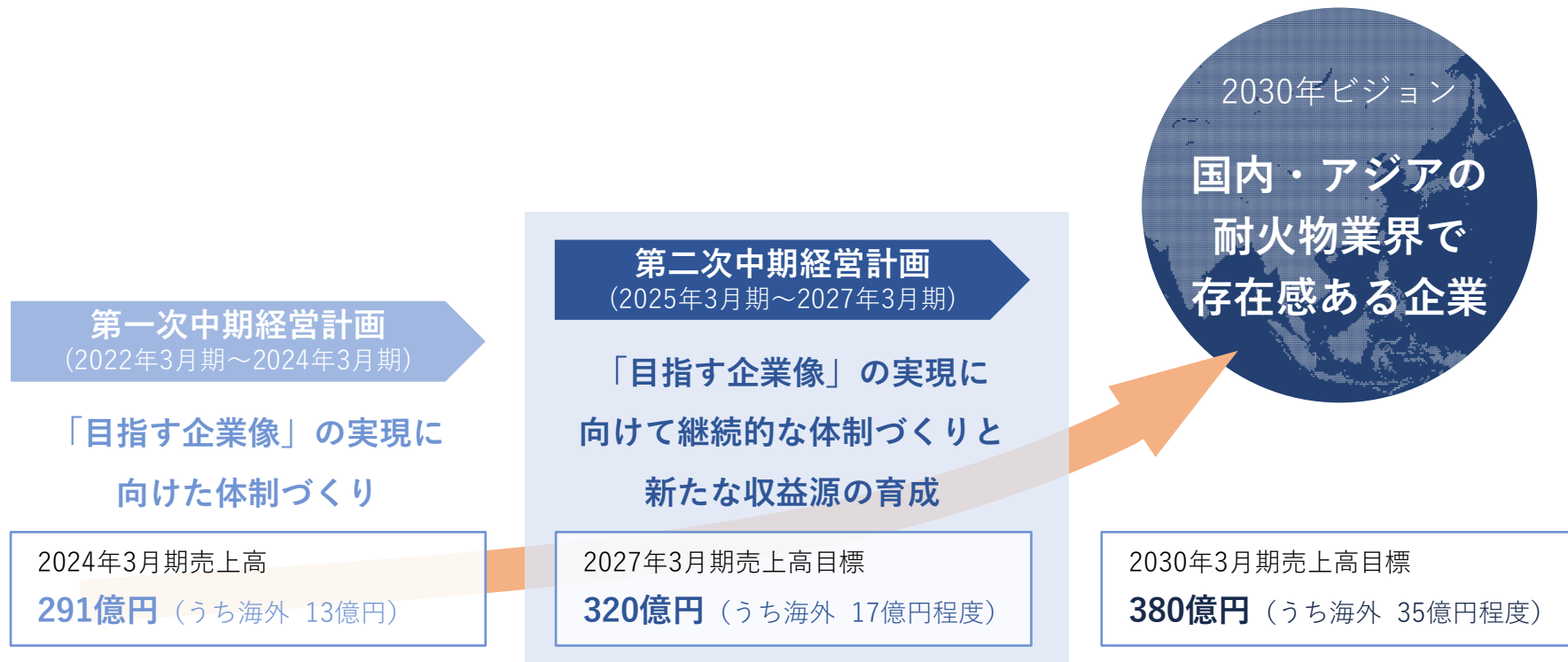
ヨータイの戦略

財務価値・非財務価値を高め、 持続的に企業価値を向上し続ける企業へ



第二次中期経営計画のコンセプトと位置づけ

中長期の飛躍を目指して「2030年ビジョン」を新たに制定
第二次中期経営計画で投資効果の拡大を図り、2030年に投資効果の最大化を目指す



第二次中期経営計画（2024年度-2026年度）

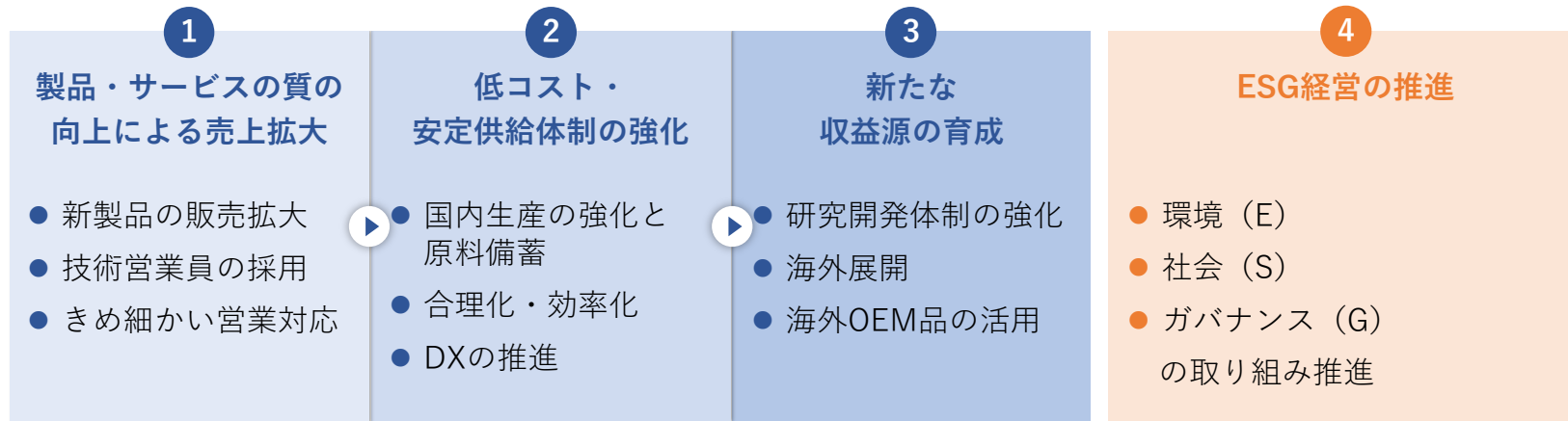
「目指す企業像」の実現に向けて**継続的な体制づくり**と**新たな収益源の育成**を行う期間

基本戦略・重点施策

引き続き、**ヒト・モノ・情報への投資**を行い、投資効果の最大化を図りながら、
環境変化に対応して**収益力の強化・収益源の多様化**を図る

収益力の強化・収益源の多様化

ESG経営の推進



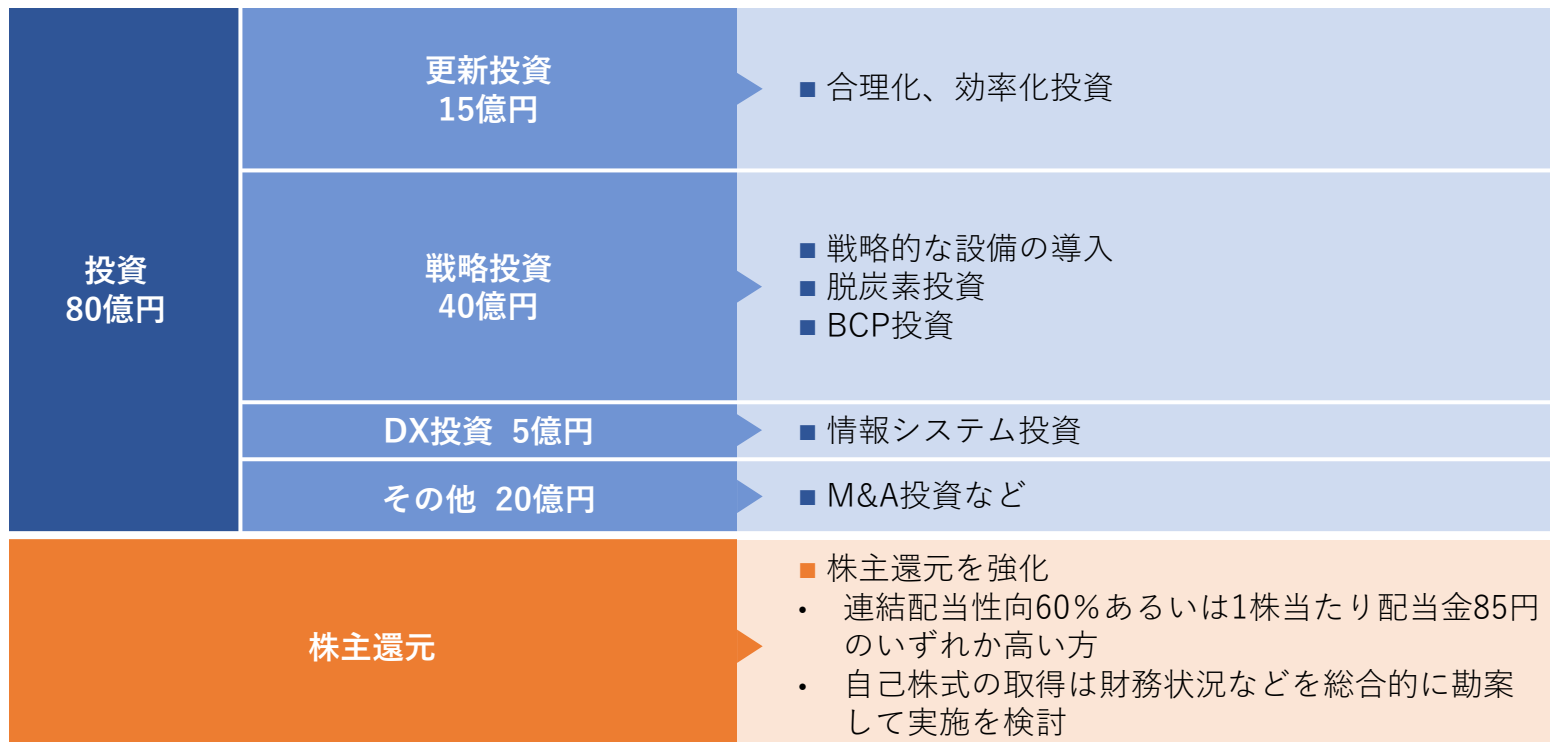
第二次中期経営計画の数値目標

(百万円)

	2024.3期	2027.3期	2024.3期との比較	
			増減額	増減率
売上高	29,128	32,000	+2,871	+9.9%
営業利益 (売上高営業利益率)	3,602 (12.4%)	4,400 (13.8%)	+797	+22.2%
経常利益 (売上高経常利益率)	3,704 (12.7%)	4,500 (14.1%)	+795	+21.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高当期純利益率)	2,669 ※ (9.2%)	3,200 (10.0%)	+530	+19.9%
ROE	8.6% ※	10.0%以上	+ 1.4pts以上	—
連結配当性向	41.4%	60.0%	+ 18.6pts	—

※連結子会社 宮口新窯耐の持分譲渡、政策保有株式縮減による特別利益の計上を除いた数値

投資、株主還元への資金配分を強化



※上記以外の投資についても、内容、金額を精査し、適宜検討していく方針

企業価値向上の具体策

お客様からの要望が高い環境配慮型耐火物などの新製品を開発

セメントロータリーキルン
遷移帯不焼成
スピネルれんが
(業種：セメント)



焼成れんがと比べて製造時に排出されるCO₂量が抑えられています。

廃棄物熔融炉用
クロムフリーキャストブル
(業種：環境装置)



優れた耐食性を有しています。

軽量・高耐クリープ
電融ムライト質炉体れんが
(業種：電子部品)



軽量性と耐クリープ性に優れ、低熱伝導率・低熱膨張率といった特性を有しており、熱ロスを削減します。

100%水素燃料で焼成した
耐火物製品



焼成工程全域において水素100%を燃料とする高温焼成に成功しました。現行の焼成品と同等の品質を有しています。

大型プレス機・高効率プレス機を各工場に導入し、生産性と品質の向上を推進



3,000Tプレス機
(日生工場)



1,500T自動プレス機
(貝塚工場)

大型プレス・高効率プレス機の導入実績

- 日生工場： 3,000Tプレス機 (2022年4月稼働)
1,000Tプレス機 (2023年9月稼働)
- 吉永工場： 1,500Tプレス機 (2022年8月稼働)
- 貝塚工場： 1,500T自動化プレス機 (2023年6月稼働)
- 瑞浪工場： 850T高効率プレス機 (2022年9月稼働)
300T高効率プレス (2023年12月稼働)

導入による効果

対応できる
製品の幅
アップ!

品質の安定性
アップ!

納期対応力
アップ!

地球環境保護に向け、再生可能エネルギーの導入を促進



吉永工場（第一製造所）
2023年8月稼働・2024年12月稼働
発電量：512kW



日生工場（西工場・東工場）
2023年12月稼働・2024年12月稼働
発電量：1,171kW



瑞浪工場
2022年11月稼働・
2025年1月稼働
発電量：1,206kW

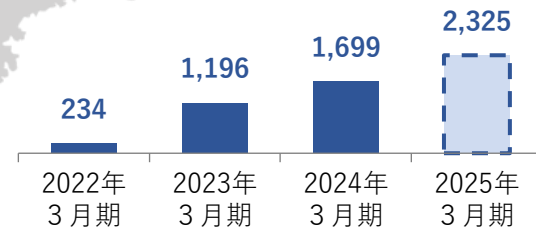


吉永工場（第二製造所）
2021年6月稼働
発電量：150kW



貝塚工場
2022年2月稼働
発電量：748kW

当社の太陽光発電設備発電量 (MWh)



※2025年3月期の太陽光発電設備発電量には、
予想分を含む

新たに導入した基幹システム「未雲（みくも）」を活用してDXを推進



DXの基本方針

生成AIをはじめとしたデジタル技術を活用し、
環境変化に対応することで、
イノベーションを創出していく

受注の拡大に向けた戦略的な営業活動の推進

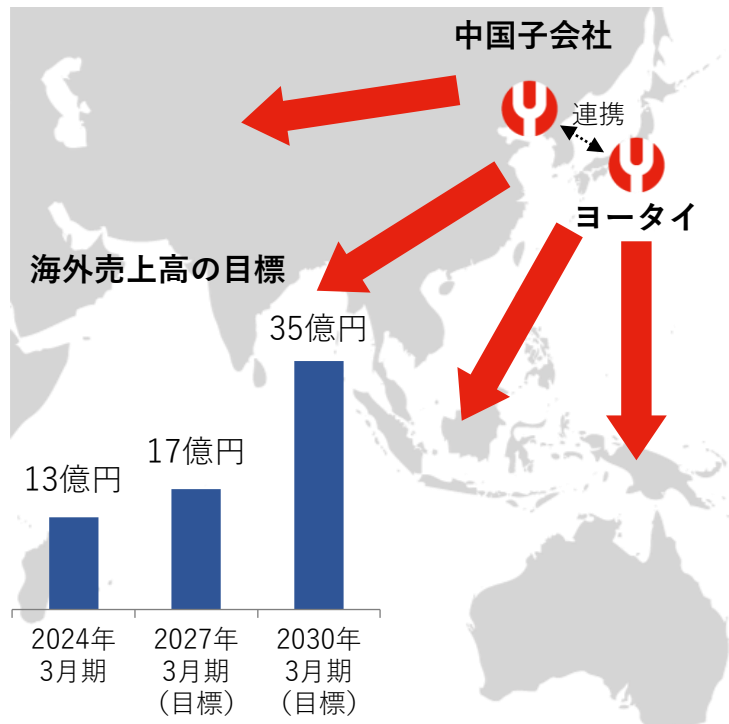
生産リードタイムの短縮や効率化

製品改良や新製品開発の促進

今後の取り組み・目標

- 生産現場での生成AI活用やIoT化の推進
- DX人材の獲得、従業員のDX人材化
- 基幹システム「未雲（みくも）」の進化

鉄鋼、セメント、電子部品を中心に、当社が強みを持つ分野で地域のニーズにあわせた展開を図る



韓国

- 2024年6月に現地の耐火物メーカーとともに、セメントメーカーを訪問し、受注活動を開始



韓国企業との調印

インド

- 2024年3月にインドを訪問し、提携の可能性のある耐火物メーカーを模索
- 2024年7月には耐火物メーカーとともに、鉄鋼、セメント各社を訪問し、インド市場参入に向けた調査を行った



インド訪問

原料備蓄体制を強化し、安定供給を重視するお客様の要望に対応

お客様への安定供給のため原料の国内備蓄を強化

- 日生工場、貝塚工場、瑞浪工場土岐製造所のレイアウトを変更して原料保管スペースを確保し、約1年分の原料を備蓄

リサイクル原料生産の実用に向けた評価試験

- 2022年10月に買収した柴田窯業原料のノウハウ・設備を活用し、瑞浪工場土岐製造所でリサイクル原料生産の評価試験を実施

原料の調達先の多様化

- 中国子会社を活用し、中国を中心としながらも多様な調達ルートを確認し、リスクを分散



日生工場の原料倉庫



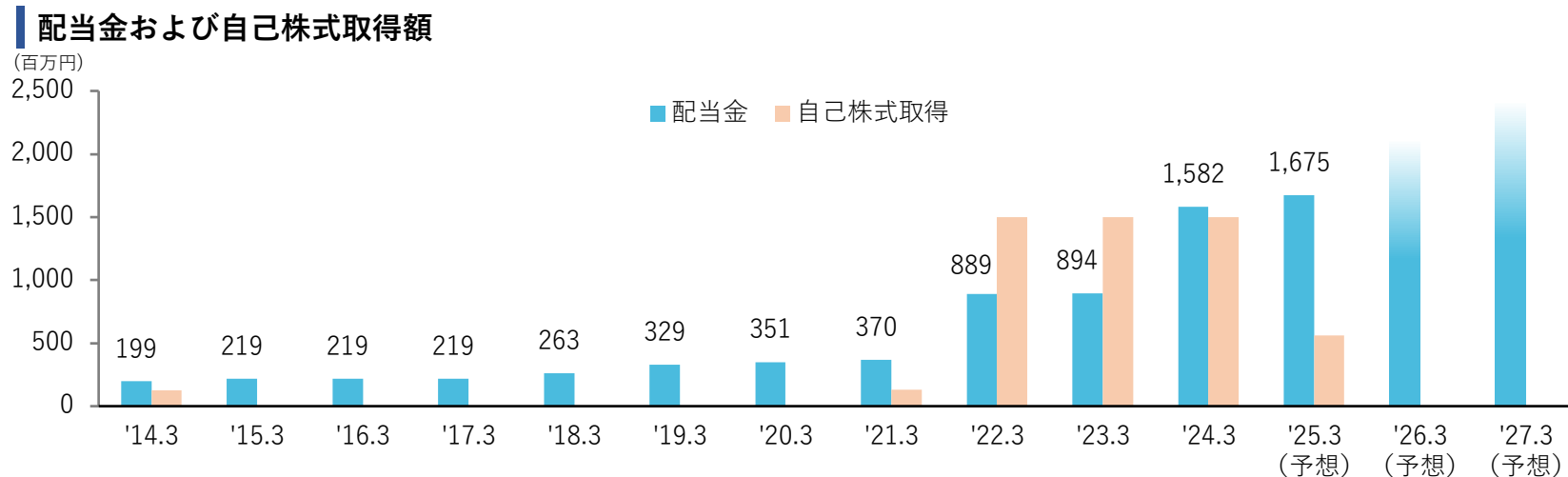
貝塚工場の新倉庫



營口窯耐進出口有限公司

株主還元

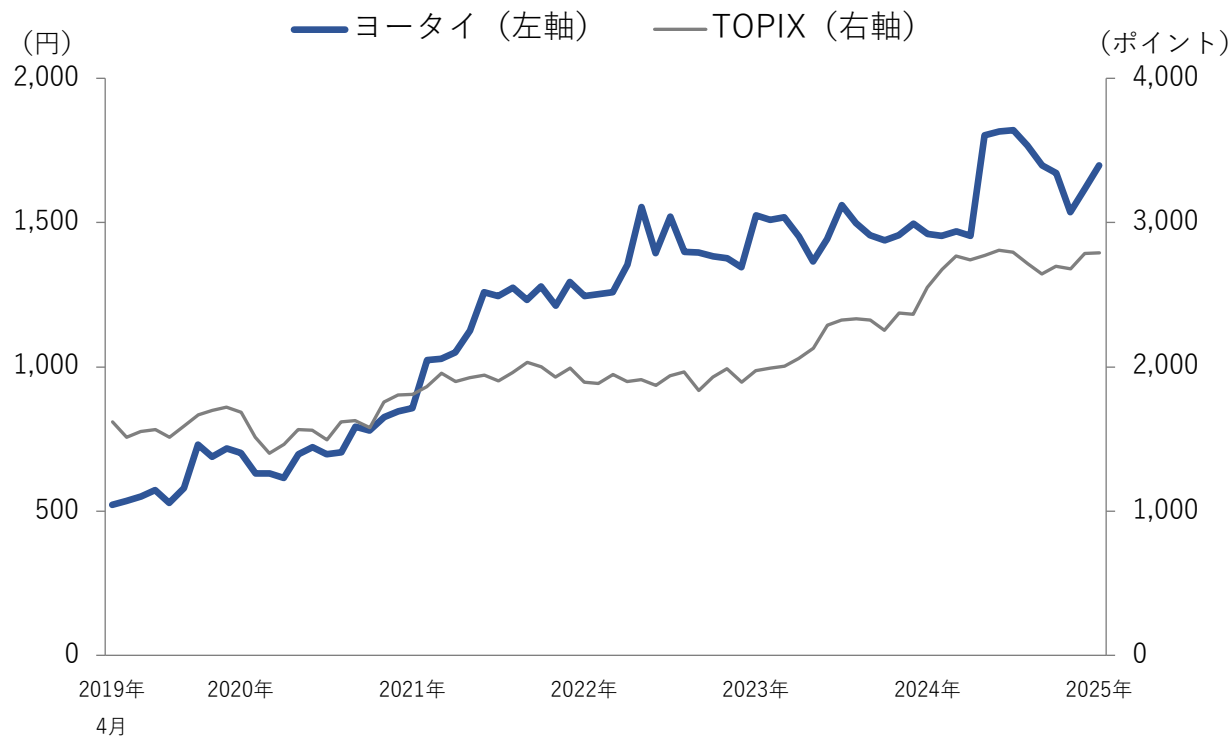
第二次中計期間中は配当による還元を重視して、
連結配当性向 60%あるいは1株当たり85円のいずれか高い方に目標を引き上げる。
 自己株式取得は、財務状況等を総合的に勘案し、実施を検討する。



	14.3	15.3	16.3	17.3	18.3	19.3	20.3	21.3	22.3	23.3	24.3	25.3	26.3	27.3
1株当たり配当金 (円)	9.0	10.0	10.0	10.0	12.0	15.0	16.0	17.0	43.0	45.0	85.0	90.0	—	—
連結配当性向	25.2%	23.8%	23.5%	16.0%	10.1%	9.1%	12.6%	20.1%	30.4%	30.5%	41.4%	60.9%	—	—

株価（終値）の推移

東証プライム：5357



2025年2月12日現在

株価

1,712円

予想配当利回り

5.26%

予想PER

12.98倍

実績PBR

0.98倍

ヨータイについて、覚えておいていただきたいこと

1 モノづくりの根底を支える **耐火物** メーカー

2 継続的に **経常利益率10%以上** を達成し、高い収益性を維持している企業

3 株主還元については、第二次中期経営計画期間中は配当による還元を重視して、**配当性向60%** あるいは1株当たり **配当金85円** のいずれか高い方を目標としている

統合報告書を発刊しています

投資家、株主の皆様をはじめとした全てのステークホルダーの方々に
当社の事業内容と企業価値向上の取り組みをわかりやすくお伝えしています



2022年版



2023年版



2024年版

<https://www.yotai.co.jp/library.html>

ヨータイ 統合報告書

検索



社外からの評価

健康経営優良法人
2024※に認定
※大規模法人部門



CDP2024
気候変動に関する
調査
「B」スコア



補足資料

耐火物には、「定形」と「不定形」の2種類がある

当社の得意分野

定形耐火物

ブロック状やプレート状など種々の形を持つ耐火物



不定形耐火物

粉体状や練り土状の耐火物

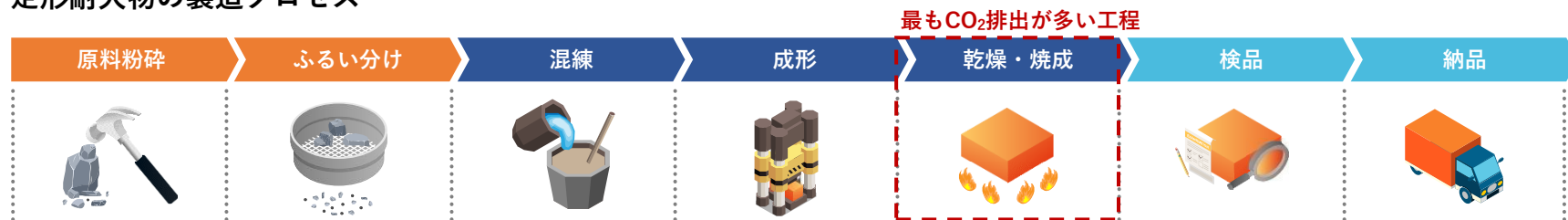


	分類	品種	主な用途
定形耐火物	ブロック状やプレート状など種々の形を持つ耐火物。成長分野である電子部品業界で使用される耐火物の多くは定形耐火物です。	スピネル	セメント
		マグ・カーボン	高炉・電炉
		アルマグカーボン	電炉
		粘土質	汎用
		高アルミナ	汎用
		その他	汎用
		定形	
不定形耐火物	粉体状や練り土状の耐火物。粉体状製品は現場で水と混ぜ合わせて流し込んだり、吹き付けたりして使用します。練り土状製品は押し付けたり、叩き込んだりして使用します。	キャスト	
		その他	鉄鋼・環境装置・汎用
		不定形	

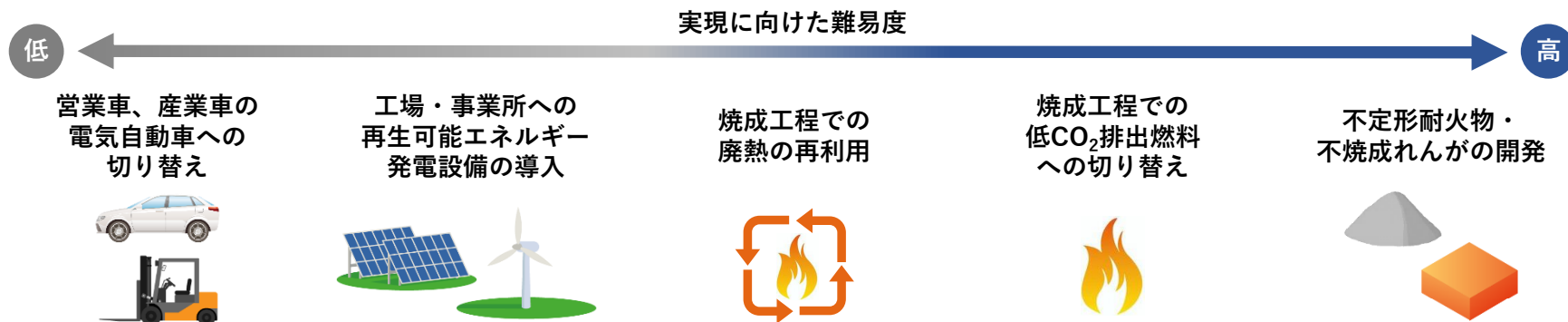


難易度が高いテーマについても実現に向けた検討を進める

定形耐火物の製造プロセス



具体的な検討テーマ



お問い合わせ先

株式会社ヨータイ 業務部

住所 〒597-0093 大阪府貝塚市二色中町8番1
TEL 072-430-2100

この資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。